

# 道徳科の授業における 指導と評価の一体化

文部科学省初等中等教育局教育課程課  
教科調査官 浅見 哲也

1

道徳が教科化されて、  
5年目を迎えました。

2

## 求められていること

- 教育の目標(教育基本法)
  - ・豊かな情操と道徳心(豊かな心)を培う
- これからの時代に必要な資質・能力の育成
  - ・知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成、学びに向かう力、人間性等の涵養
- 教育課題への対応
  - ・いじめ問題、情報モラル、ESDなどへの対応
- 道徳科の授業の量的確保
  - ・年間35時間以上実施して、評価する
- 道徳科の授業の質的転換
  - ・「主体的・対話的で深い学び」(「考え、議論する道徳」)

3

## 変わらないこと

- 道徳教育は、全教育活動を通じて行うこと
- 道徳教育の要として道徳科の授業を年間35時間以上行うこと
- 道徳教育及び道徳科では、道徳性を養うことを目標としていること

4

# 変わったこと

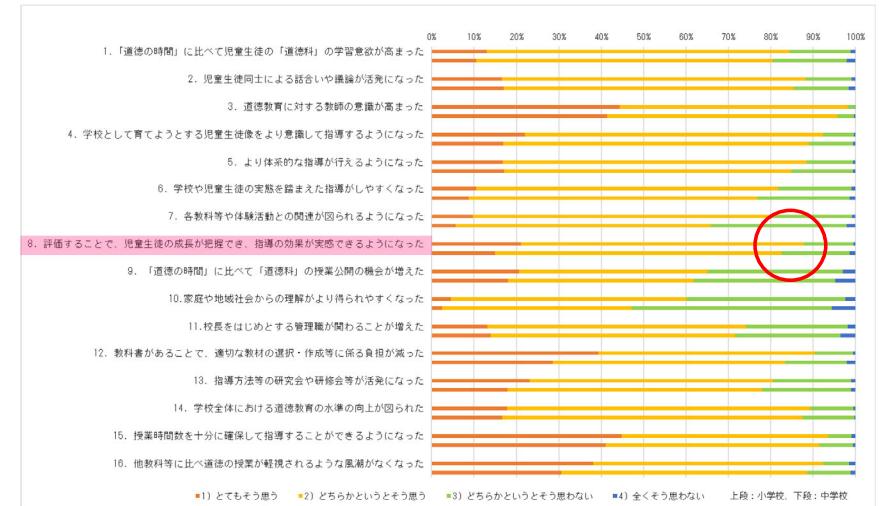
●教科用図書を中心とする教材として使用すること

●道徳科の授業で児童生徒を評価すること

## IV 道徳科の評価の工夫

調査結果（小・中学校）

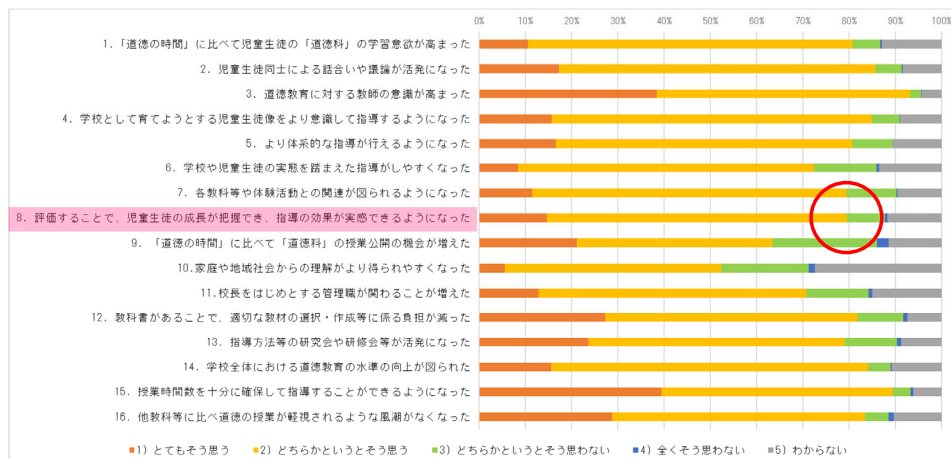
### 【設問12】道徳の「特別の教科」化を受けた変化



## IV 道徳科の評価の工夫

調査結果（教育委員会）

### 【設問3】道徳の「特別の教科」化を受けた学校における変化



## IV 道徳科の評価の工夫

調査結果（小・中学校）

### 【設問13】道徳の「特別の教科」化を受けたその他の変化（自由記述）

#### 前向きな変化

- 道徳に興味を持つ児童生徒、道徳で学んだことを生活に生かそうとする児童生徒が増えた。
- 学級担任以外の教師の意識が高まり、学校全体で連携した実践が増えた。
- 教材の扱い方や指導方法について、日頃から教師間の話し合いが活発に行われるようになった。
- 多様な指導法や発問を工夫するようになった。
- 記述評価により、児童生徒が自分のよさや成長を実感できるようになった。
- 評価することにより指導中の児童生徒の発言や様子に教師自身が様々な視点で目を向けることが増えた。

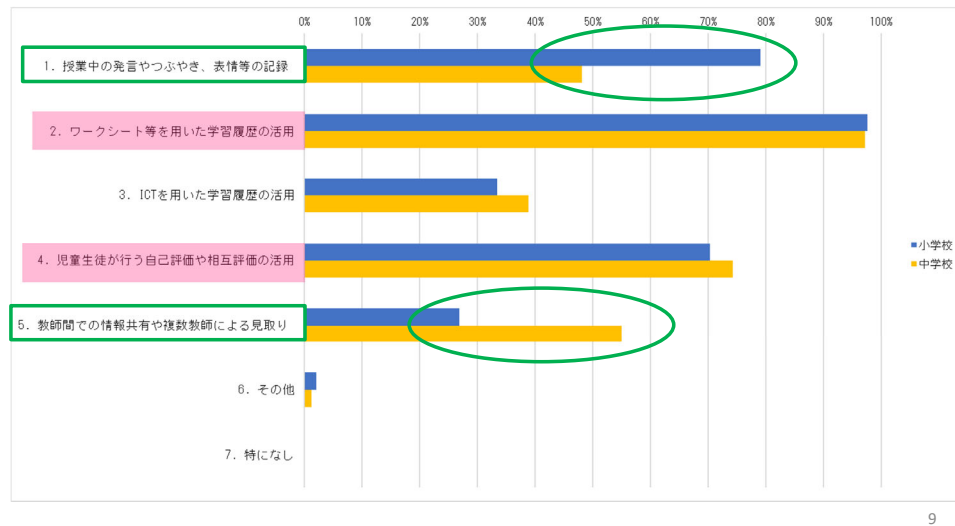
#### 課題につながる変化

- 教科書や教科書発行者の指導書に頼る傾向が見受けられるようになった。
- 道徳科の評価という学級担任の業務が増えた。
- 児童生徒の道徳性に係る成長の様子を把握することは容易ではなく、評価への意識の高まりとともに、評価に不安を抱える教師が増えた。

## IV 道徳科の評価の工夫

調査結果（小・中学校）

### 【設問5】道徳科の評価の工夫（複数回答可）

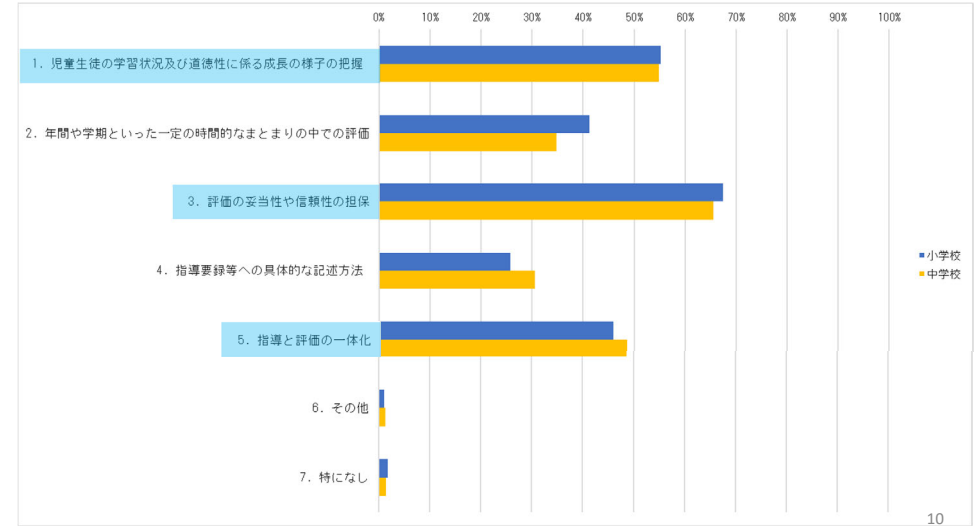


9

## IV 道徳科の評価の工夫

調査結果（小・中学校）

### 【設問7】道徳科の評価を行う上での課題（複数回答可）



10

## IV 道徳科の評価の工夫

調査結果（小・中学校）

### 【設問13】道徳の「特別の教科」化を受けたその他の変化（自由記述）

#### 前向きな変化

- 道徳に興味を持つ児童生徒、道徳で学んだことを生活に生かそうとする児童生徒が増えた。
- 学級担任以外の教師の意識が高まり、学校全体で連携した実践が増えた。
- 教材の扱い方や指導方法について、日頃から教師間の話し合いが活発に行われるようになった。
- 多様な指導法や発問を工夫するようになった。
- 記述評価により、児童生徒が自分のよさや成長を実感できるようになった。
- 評価することにより指導中の児童生徒の発言や様子に教師自身が様々な視点で目を向けることが増えた。

#### 課題につながる変化

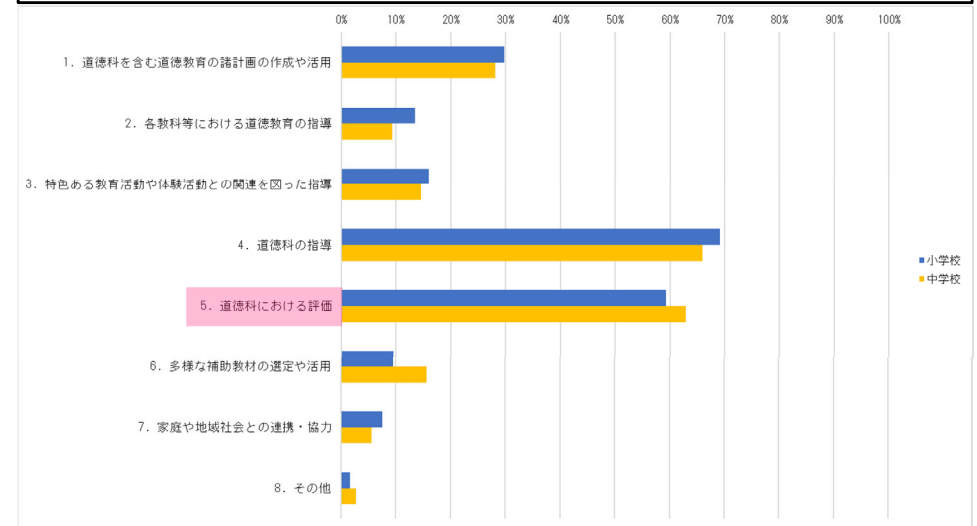
- 教科書や教科書発行者の指導書に頼る傾向が見受けられるようになった。
- 道徳科の評価という学級担任の業務が増えた。
- 児童生徒の道徳性に係る成長の様子を把握することは容易ではなく、評価への意識の高まりとともに、評価に不安を抱える教師が増えた。

11

## IV 道徳科の評価の工夫

調査結果（小・中学校）

### 【設問9】校内研修で重点を置いていること（複数回答可）



12

## 評価の意義

児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。

小学校学習指導要領「第1章 総則」の「第3 教育課程の実施と学習評価」の2の(1)

13

## 評価の意義

創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、組織的かつ計画的な取組を推進するとともに、学年や学校段階を越えて児童の学習の成果が円滑に接続されるように工夫すること。

小学校学習指導要領「第1章 総則」の「第3 教育課程の実施と学習評価」の2の(2)

14

## 道徳科の評価

道徳科の授業で見られた児童の評価

児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

小学校学習指導要領「第3章 特別の教科 道徳」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の4

15

### 研究協議

道徳科の授業における指導と評価の一体化についての課題とその対応について

- 道徳科では、継続的に行う指導において、どのような児童の学習状況の評価が行われているのでしょうか？
- 道徳科では、教師の授業に対する評価が、どのように指導に生かされているのでしょうか？

16

## 道徳科の目標の理解

17

## 道徳教育の目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

小学校学習指導要領「第1章総則」の第1の2(2)

18

## 道徳性とは

- ・思考や判断、行動などを通してよりよく生きるための営みを支える基盤となるもの
- ・人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指して行われる道徳的行為を可能にする人格的特性であり、人格の基盤をなすもの
- ・人間らしいよさであり、道徳的価値が一人一人の内面において統合されたもの

小学校学習指導要領解説 総則編

19

## 道徳的価値とは

よりよく生きるために必要とされるもの

人間としての在り方や生き方の礎となるもの

■ 今後、様々な問題場面に出会った際に、その状況に応じて自己の生き方を考え、主体的な判断に基づいて道徳的実践を行うためには、道徳的価値の意義及びその大切さの理解が必要になる。

■ 学校教育では、これらのうち発達の段階を考慮して、児童生徒一人一人が道徳的価値観を形成する上で必要なものを内容項目として取り上げている。

20



**A** 主として自分自身に関すること  
 [善悪の判断, 自律, 自由と責任][正直, 誠実][節度, 節制]  
 [個性の伸長][希望と勇気, 努力と強い意志][真理の探究]

**B** 主として人との関わりに関すること  
 [親切, 思いやり][感謝][礼儀][友情, 信頼][相互理解, 寛容]

**C** 主として集団や社会との関わりに関すること  
 [規則の尊重][公正, 公平, 社会正義][勤労, 公共の精神]  
 [家族愛, 家庭生活の充実][よりよい学校生活, 集団生活の充実]  
 [伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度][国際理解, 国際親善]

**D** 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること  
 [生命の尊さ][自然愛護][感動, 畏敬の念][よりよく生きる喜び]

# 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため**、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる**。

小学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳

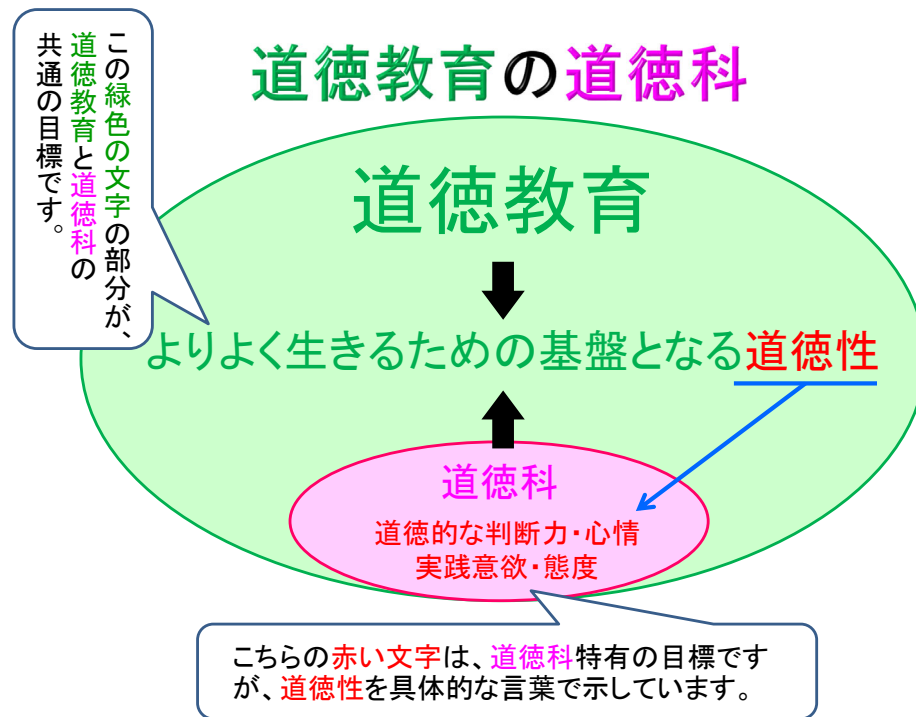
学校教育における**道徳教育**で養う**道徳性**

- 道徳的**判断力**
- 道徳的**心情**
- 道徳的**実践意欲**
- 道徳的**態度**

**道徳性を構成する諸様相**

・ 一人一人の児童(生徒)が道徳的価値を自覚し、自己の(人間としての)生き方についての考えを深め、日常生活や今後出会うであろう様々な場面、状況で、**道徳的価値**を実現するための適切な行為を主体的に選択し、実践することができるような**内面的資質**

## 道徳教育の道徳科



## 学校教育における**道徳性**の捉え方

### 道徳的判断力

それぞれの場面で善悪を判断する能力

### 道徳的心情

道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情

### 道徳的実践意欲

道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働き

### 道徳的態度

道徳的判断力や道徳的心情に裏付けられた具体的な道徳的行為への身構え

25

## 道徳科って何を学ぶ時間？



**道徳性**を養う時間

道徳性の様相を育てる時間



そのためには、  
どのような学習をすればいいのか？

26

## 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる**道徳性**を養うため、**道徳的諸価値**についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度**を育てる。

## 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる**道徳性**を養うため、**道徳的諸価値**についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度**を育てる。

道徳的諸価値の理解を基に

# 道徳的価値の 意義及び大切さを 理解する

## 道徳的価値の理解とは

### (1) 価値理解

人間としてよりよく生きる上で大切なことであると理解すること

### (2) 人間理解

道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなども理解すること

### (3) 他者理解

道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は一つではない、多様であるということを前提として理解すること

## 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

## 自己を見つめ

(1) 価値理解

(2) 人間理解

(3) 他者理解



自己理解

自分との関わりで捉える

自分の経験やそのときの感じ方、考え方と照らし合わせながら、考えを深める

- ・成長を実感する
- ・課題や目標を見つける



## 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

小学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳

33

## 多面的・多角的に考える

- ・多様な感じ方や考え方に接する
- ・多様な価値観の存在を前提に考える
- ・他者と対話したり協働したりしながら考える



児童一人一人は、価値理解と同時に人間理解や他者理解を深め、更に自分で考えを深め、判断し、表現する力などを育むのである。

34

## 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

小学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳

35

## 自己の生き方についての考えを深める

- ・形成された道徳的価値観を基盤とする
- ・自己の生き方についての考えを深めることを強く意識する

36

## 自己の生き方についての考えを深める

- 児童が道徳的価値に関わる事象を**自分自身の問題**として受け止められるようにする。
- 他者の多様な感じ方や考え方に触れることで身近な集団の中で**自分の特徴**などを知り、**伸ばしたい自己**を深く見つめられるようにする。
- それとともに、これからの生き方の課題を考え、それを自己の生き方として実現していこうとする**思いや願い**を深めることができるようにする。

37

## 道徳的な判断力、心情、 実践意欲と態度を育てる

長期的な展望と綿密な計画に基づいた丹念な指導がなされ、道徳的実践につなげていくことができるようにする。

38

## 道徳科の授業のねらい

道徳科の内容項目を基に、ねらいとする**道徳的価値**や**道徳性の様相**を端的に表したもの

39

- ✗ ねらいとする**内容項目**
- 手掛かりとする**内容項目**
- ねらいとする**道徳的価値**

40

# 小学校低学年 A節度・節制

## 内容項目

健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。

## 道徳的価値

健康・安全に気を付ける

物や金銭を大切にする

身の回りを整える

わがままをしない

規則正しい生活をする

41

# 道徳科の授業のねらいの例

自分の特徴に気付き、長所を伸ばそうとする(道徳的)態度を育てる。

個性の伸長

誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする(道徳的)心情を育てる。

公正、公平、社会正義

他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めようとする(道徳的)実践意欲と態度を育てる。

国際理解、国際親善

42

# 道徳科の評価の理解

43

# 道徳教育に関わる評価

評価の公的な文書である「指導要録」の場合

## 行動の記録

- ◇基本的な生活習慣
- ◇健康・体力の向上
- ◇自主・自律
- ◇責任感
- ◇創意工夫
- ◇思いやり・協力 …

十分満足できる状況にあると判断される場合に○印を付ける評価

## 総合所見及び指導上参考となる諸事項

児童の成長の状況を総合的に捉え、記述する評価

教育活動全体で見られた児童生徒の道徳的な行為の評価

44

# 道徳科の評価の基本的態度

(目標にも示されているように)道徳科は、道徳教育の目標に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によって**道徳性を養うことがねらい**である。

道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする人格的特性であり道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲及び態度を諸様相とする内面的資質である。このような道徳性が養われたか否かは、(授業のみでは)容易に判断できるものではない。

しかし、道徳性を養うことを学習活動として行う道徳科の指導では、その**学習状況(学んでいる姿)**や**(その)成長の様子**を適切に把握し、**評価することが求められる**。

# 道徳科の評価

道徳科の授業で見られた児童の**評価**

児童の**学習状況**や**道徳性に係る成長の様子**を**継続的に把握し**、**指導に生かすよう努める必要がある**。ただし、**数値などによる評価は行わないものとする**。

小学校学習指導要領「第3章 特別の教科 道徳」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の4

# 道徳科の評価の在り方

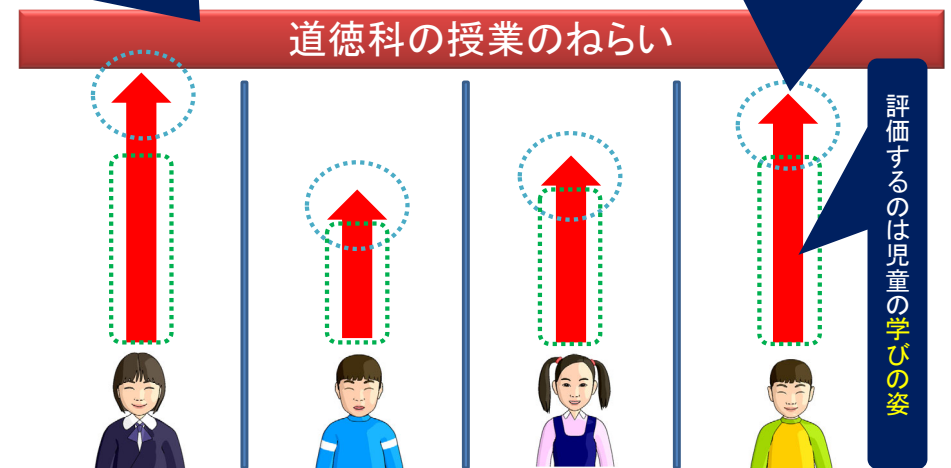
- ・数値による評価ではなく、**記述式**とすること
- ・個々の内容項目ごとではなく、**大くくりなまとまり**を踏まえた評価とすること
- ・他の児童との比較による評価ではなく、児童がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます**個人内評価**として行うこと
- ・学習活動において児童がより**多面的・多角的な見方へと発展しているか**、**道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか**といった点を重視すること
- ・発達障害等のある児童が抱える**学習上の困難さ**の状況等を踏まえた指導及び評価上の配慮を行うこと
- ・**調査書に記載せず**、入学者選抜の合否判定に活用することのないようにすること

# 道徳科における評価

成長を受け止めて認め、励ます**個人内評価**

道徳的価値の理解を基に、道徳性の様相を育てること

評価規準はなく、達成度は評価できない



## 一面的な見方から**多面的・多角的**な見方へと発展させているかどうか

- ・道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている
- ・自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている
- ・複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている

など

49

## 道徳的価値の理解を**自分自身との関わり**の中で深めているかどうか

- ・読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている
- ・現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直していることがうかがえる部分に着目している
- ・道徳的な問題に対して自己の取り得る行動と他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めている
- ・道徳的価値の実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている

など

50

## 道徳科の授業における児童の**評価**の視点

・ねらいとする道徳的価値について、道徳性の諸様相が育っているか。

評価するのは困難

・ねらいとする道徳的価値が理解できたか。

理解することを目的として評価する他の教科等とは異なる

### 道徳的諸価値の理解に基づく

・より**多面的・多角的**な見方へと発展しているか。

・道徳的価値の理解を**自分自身との関わり**の中で深めているか。

### 自己の生き方について考えを深める

これらの点を重視し、道徳科の学習活動に着目して評価する。

## 道徳科の**評価**

### 道徳科の授業で見られた児童の**評価**

児童の**学習状況**や**道徳性に係る成長の様子**を**継続的に把握し**、**指導に生かすよう努める**必要がある。ただし、**数値**などによる評価は行わないものとする。

「第3章 特別の教科 道徳」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の4

52



# 道徳科の評価

## 道徳科の授業で見られた児童の評価

児童の**学習状況**や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

「第3章 特別の教科 道徳」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の4

53

## 道徳科の授業における児童の評価の視点

長いスパンで見えてくる、学びの姿の成長の様子を評価する。

35回目

年間の成長の様子

○回目

学期間の成長の様子

● 1回目

### 道徳的諸価値の理解に基づく

- ・より多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- ・道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。

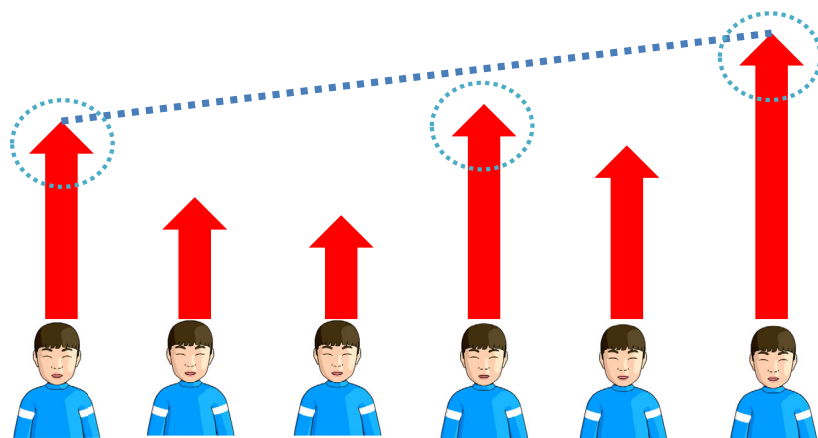
自己の生き方について考えを深める

54

## 道徳科における評価

個々の内容項目ごとではなく、**大きく**なまとまりを踏まえる

第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回



学習状況や道徳性に係る成長の様子を**継続的に**把握

55

## 評価のための具体的な工夫例

- ・児童の学習の過程や成果などの**記録**を計画的に**ファイル**に蓄積したもの
- ・児童が道徳性を養っていく過程での児童生徒自身の**エピソード**を累積したもの
- ・作文やレポート、**スピーチ**や**プレゼンテーション**など具体的な学習の過程
- ・児童が行う**自己評価**や**相互評価** 等

56

## 特に配慮すべきこと

- ・授業中の発言がほとんどない。
- ・文章表現が得意ではない。
- ・表情にも表れにくい。

・授業でどのように見取っていくのかを校内で検討しておくことが必要

・授業者は、意図的に観察したり、指名したりして、評価できる根拠を集めることが必要

57

## 「困難さの状態」を把握した 道徳科の指導と評価への配慮

- ・発達障害のある児童
- ・海外から帰国した児童
- ・日本語習得に困難のある児童 等

58

## 道徳科の指導方法の工夫の例

- ア 教材を提示する工夫
- イ 発問の工夫
- ウ 話合いの工夫
- エ 書く活動の工夫
- オ 動作化、役割演技など  
表現活動の工夫
- カ 板書を生かす工夫
- キ 説話の工夫 等

ICT端末  
の活用

これらの指導方法の工夫は、児童が表現しやすい状況をつくっていると見える。(学習状況の評価にも活かせる。)

59

## 組織的、計画的な評価の推進例

- ・学年ごとに評価のために集める資料や評価方法等を明確にしておく
- ・評価結果について教師間で検討し評価の視点などについて共通理解を図ること
- ・評価に関する実践事例を蓄積し共有すること

妥当性

信頼性

自信

負担感軽減

60

そして、何よりも・・・

そのような児童の**評価**ができる  
**道徳科**の学習が  
「**考え、議論する道徳**」でもある。

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習

61

## 指導と評価の一体化

62

## 道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤**となる**道徳性**を養うため、**道徳的諸価値**についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度**を育てる。

小学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳

63

### 内容項目（個性の伸長）

小学校 第1学年及び第2学年

自分の特徴に気付くこと。

小学校 第3学年及び第4学年

自分の特徴に気付き、長所を伸ばすこと。

小学校 第5学年及び第6学年

自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。

### 内容項目（向上心、個性の伸長）

中学校

自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。

64

## 児童の学習状況を見取る評価

本時の授業での指導で、児童がどのような学習を行うことが、内容項目(個性の伸長)を手掛かりとして道徳性を養うことにつながるのか？

- ・自分の特徴を考える。
- ・人のよさとはどのようなものかを、一つの見方ではなく多面的・多角的に捉えて考える。
- ・自分の長所をどのように伸ばしていくのか考える。
- ・自分の特徴に気づき、よさを大切にしようとする。

など  
65

## 本時の指導で重視した評価の視点の例

- ◆人のよさとはどのようなものかを、一つの見方ではなく、様々な見方で捉えているか。
- ◆自分の長所をどのように伸ばしていけばよいかを考えているか。
- ◆自分の特徴に気づき、長所を大切にすることのよさについて考えているか。 など

66

## 道徳科の授業における評価

### 児童の学習状況を見取る評価の視点の例

- ・道徳的価値のよさや大切さについて考えようとしている。
- ・道徳的価値について、一つの見方ではなく様々な角度から捉えて考えようとしている。
- ・道徳的価値について、自分のこれまでの体験から感じたことを重ねて考えようとしている。
- ・授業で学んだ道徳的価値のよさを感じ、これからの自分の生き方に生かそうとしている。 など

67

## 教師の授業に対する評価の観点の例

- ア 学習指導過程は、道徳科の特質を生かし、道徳的価値の理解を基に自己を見つめ、自己の生き方について考えを深められるよう適切に構成されていたか。また、指導の手立てはねらいに即した適切なものとなっていたか。
- イ 発問は、児童が多面的・多角的に考えることができる問い、道徳的価値を自分のこととして捉えることができる問いなど、指導の意図に基づいて的確になされていたか。
- ウ 児童の発言を傾聴して受け止め、発問に対する児童の発言などの反応を、適切に指導に生かしていたか。
- エ 自分自身との関わりで、物事を多面的・多角的に考えさせるための、教材や教具の活用は適切であったか。
- オ ねらいとする道徳的価値についての理解を深めるための指導方法は、児童の実態や発達の段階にふさわしいものであったか。
- カ 特に配慮を要する児童に適切に対応していたか。

68

# 道徳科における評価の意義

観点 教師

教師が指導の目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料となるもの

指導に生かされ、児童の成長につながる評価でなくてはならない。

児童 視点

自らの成長を実感し意欲の向上につながるもの

## 指導と評価の一体化

指導は、子供が自らのよさや成長を実感できるように工夫するもの

評価は、子供の成長を願って行われるもの

子供にとって心の成長につながるいちばんの評価は…

信頼できる先生に認められること

### 道徳教育アーカイブ

文部科学省 文部科学省

文部科学省では、「特別の教科 道徳」の趣旨や理念の実現を図るため、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる映像資料等を提供し、学校の取組を全力で支援します。

#### 道徳教育について

- ▶ 「道徳教育アーカイブ」について
  - 令和4年3月28日 工夫事例（指導案）、いじめ防止を扱う実践事例を更新しました。
  - 令和4年3月10日 工夫事例（指導案）、いじめ防止を扱う実践事例、教育委員会等作成指導資料（年3回）を更新しました。
  - 令和4年3月11日 授業映像（小学校（2事例））の動画を追加しました。
- ▶ 道徳教育を始めるための資料
  - 令和4年2月4日 道徳教育を知るための冊子（研修用資料）、「令和4年度 小学校・中学校各教科各教科指導要領改訂推進会議」を企画しました。
- ▶ 文部科学省作成教材
- ▶ 実践事例
  - 令和3年3月3日 授業映像（小学校（2事例））の動画を追加しました。
- ▶ 授業映像
  - 令和2年4月21日 授業映像（小学校（2事例）、中学校（1事例））の動画を追加しました。
  - 授業映像（中学校の動画（2事例））を追加しました。
  - 研修用資料「「学びの生涯」道徳教育推進協議会研修メニュー」を公開し、「道徳教育の推進委員会（年3回）」を公開しました。
- ▶ 工夫事例（指導案）
  - 文部科学省作成教材に「小学校道徳 読み教員用集」と「小学校道徳 読み教員用集」を追加しました。
- ▶ いじめ問題に関する授業実践

<https://doutoku.mext.go.jp/>

### 実践事例について

「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる工夫のポイントを、実際の授業の映像と授業者へのインタビューを通して紹介しています。各学校において、児童生徒や学校、地域の実態に合わせた指導方法を工夫する上での参考として活用ください。

#### 授業映像

「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる工夫のポイントを、実際の授業の映像と授業者へのインタビューを通して紹介しています。1事例15～20分程度に収録しています。収録開始時刻は1分30秒から2分30秒です。1分30秒から2分30秒までを視聴し、残り1分30秒までを視聴してください。



**学年** 小学校第4学年  
**内容項目** ② 主として人との関わりに関すること  
 親切、思いやり  
**教科書** 心と心のちくちく（わかしかのこ）  
**学びの機会**

**実務のポイント** ICT端末を授業に活用し、自分の思いを伝えたり、相手の考えを受け入れたりし、自分や、自分の周りの人とのつながりや関係性を深める授業



**学年** 小学校第2学年  
**内容項目** A 主として自分自身に関すること  
 誠実、勤め  
**教科書** どうして、ないない（日本文化館）  
**学びの機会**

**実務のポイント** ICT端末を授業に活用し、大切にしている持ち物に込められた思いをついこ繰り返しながら、自分と周りの考えを深める授業



全国の優れた実践事例・参考資料を集めた教師のためのWebサイト

# 道徳教育アーカイブ

文部科学省では、「特別の教科 道徳」の趣旨の実現を図るため、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる映像資料等を提供し、学校の取組を全力で支援します。

道徳教育アーカイブ  
～「特別の教科 道徳」の発展実態～  
https://doutoku.mext.go.jp  
道徳教育アーカイブ

● 授業映像 ●

実際の授業の映像と授業者へのインタビューを通して、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる工夫のポイントを紹介。研修等においても活用しやすいように1事例20分程度の動画として編集している。「自分ならばこういう工夫をする」「この発問は効果的である」といったことを話し合ったり、検討したりするなど、様々な方法で活用いただくことを想定。

● 工夫事例(指導案) ●

各都道府県等で行われている道徳の授業の実践例(指導案)のうち、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となると考えられる事例を紹介。

● いじめ防止を扱う実践事例 ●

道徳の授業における実践例に加え、特別活動(生徒会活動)で取り組む事例を含め、各都道府県で実践に行われている、いじめの防止に関わる具体的な問題場面を取り扱った事例を紹介。

● 道徳教育を知るための資料 ●

道徳教育を知るための基礎資料として、道徳の「特別の教科」化の経緯に関する資料、学習指導要領解説や研修用資料、道徳教育実施状況調査の結果及び結果のポイントについての教科調査官による解説動画などを掲載。

● 授業で使える郷土教材 ●

教科書とあわせて、授業で活用できる郷土の伝統や文化、偉人などに関するものなど、各都道府県等が作成した地域の特色ある教材を紹介。

● 教育委員会作成指導資料 ●

各都道府県等の教育委員会が、教師向けに独自で作成した道徳教育のポイント等をまとめた指導資料や実習資料等を掲載。

● 文部科学省作成資料 ●

「私たちの道徳」や「心のノート」等、これまで文部科学省において作成してきた教材をまとめて掲載。

文部科学省 初等中等教育局教育課程課教育課程第一係

## 文部科学省最先端の情報報誌「初等教育資料」

初等教育資料  
学習指導要領に基づいたより確かな情報を発信する文部科学省編集の月刊誌

編集:文部科学省教育課程課 幼児教育課  
定価:660円(税込のみ) B5判・年刊102頁

### 令和4年度のテーマは「学習指導要領の趣旨の実現」!

学習指導要領全面実施3年目に当たり、教育活動の更なる改善・充実を図るために、学習指導要領の趣旨を實踐において具体化するためのポイントを発信していきます。

#### 特集Ⅰ: 教育現場における最重要課題を理解するコーナー

- 4月号 教育目標の実現
- 5月号 学習評価の課題と改善①
- 6月号 学習評価の課題と改善②
- 7月号 幼児教育と小学校教育の円滑な接続
- 8月号 特別な配慮を必要とする子供への指導
- 9月号 校内研修の充実
- 10月号 主体的・対話的で深い学びの観点からの授業改善
- 11月号 情報活用能力の育成
- 12月号 GIGAスクール構想のもとでの各教科等の指導①
- 1月号 GIGAスクール構想のもとでの各教科等の指導②
- 2月号 グローバル化する社会に向けた学習活動の展開
- 3月号 子供の学びを支える環境の充実

#### 特集Ⅱ: 学習指導要領に基づく確かな授業づくりに触れるコーナー

毎月、教科等ごとに学習指導要領に基づく授業づくりの考え方や授業実践を紹介。メインテーマは、その教科等が得意な事例を教科調査官自身がピックアップして執筆。教科等の理解・実践の教育課題は何か、授業づくりの様々なヒントを掴むことができます。

初等教育資料 編集担当紹介(視学官・教科調査官)

 大塚 隆太郎 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長	 小泉 隆太郎 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長	 荒井 健一 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長	 荒井 健一 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長	 荒井 健一 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長
 荒井 健一 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長	 小泉 隆太郎 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長	 荒井 健一 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長	 荒井 健一 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長	 荒井 健一 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長
 荒井 健一 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長	 荒井 健一 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長	 荒井 健一 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長	 荒井 健一 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長	 荒井 健一 文部科学省初等中等教育局 初等教育課長

1000号記念増刊号も好評発売中!

昭和25年に創刊された「初等教育資料」は、それぞれの時代の要請に応じて様々な変化を遂げる教育界の最新情報を発信し続けてきました。そして2020年11月、ついに1000号の節目を迎え、記念増刊号を発行しました。

不届と流行を知る!  
初等教育の歴史と未来に触れる、必読の1冊

DVD付  
●昭和22年以降の学習指導要領・幼稚園教育要領等をデータ収録!

## 研究協議

# 道徳科の授業における指導と評価の一体化についての課題とその対応について

●道徳科では、継続的に行う指導において、どのような児童の学習状況の評価が行われているのでしょうか?

●道徳科では、教師の授業に対する評価が、どのように指導に生かされているのでしょうか?